

## 平成28年「介護ロボット導入好事例表彰事業」受賞一覧

受賞位	部門	事業者名・自治体名・社名・団体名	
優秀賞	A. 事業者部門	社会福祉法人 シルヴァーウィング	
		オリックス・リビング株式会社	
		大泉特別養護老人ホーム	
		社会福祉法人 野の花会	
	C. メーカー部門	パナソニック エイジフリー株式会社 ケアプロダクツ事業部	
		クラリオン株式会社	
	D. 流通・普及支援部門	社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団 なごや福祉用具プラザ	
		社会福祉法人青森県社会福祉協議会/ 青森県介護実習・普及センター	
	好事例賞	A. 事業者部門	株式会社萌福祉サービス ハイブリッドリハビリスタジオ モエスタアルファ発寒
			株式会社たまゆら
医療法人健康会 いちごショートステイ			
医療法人つる舞会さくらクリニック 通所リハビリテーション「ユートピア」			
医療法人社団 緑心会 介護老人保健施設 グリーンアルス伊丹			
社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 介護老人保健施設アゼリア			
社会福祉法人丸野福祉会			
B. 行政部門		岡山市	
C. メーカー部門		株式会社知能システム	
		株式会社幸和製作所	
D. 流通・普及支援部門		一般社団法人日本福祉用具供給協会 中国支部広島県ブロック	

※最優秀賞は、2017年3月1日に行われます最終プレゼンテーションにて決定いたします。最終結果につきましては公式ウェブサイトをご参照ください。



# 介護ロボット導入好事例表彰事業について

「介護ロボット導入好事例表彰事業」は、介護ロボットの普及・定着に向けて、介護事業者および開発メーカー、自治体、流通事業者や普及支援機関まで幅広く対象として表彰します。

## 1. 事業の目的

高齢化の進展に伴い介護費用の増加や人材の確保、職員の腰痛、認知症高齢者や老々介護世帯の増加等への対応が喫緊の行政課題となっています。

こうした中、政府が掲げた「日本再興戦略」に基づき、ロボット技術を介護の分野で活用すべく、介護ロボットの開発実用化に向けた取り組みがなされているところであり、厚生労働省と経済産業省が連携して特定した、重点的に開発する分野のロボットも続々と商品化されているところでもあります。

また、平成27年度より、医療介護総合確保基金を活用した介護ロボット導入支援事業及び、補正予算においては、介護ロボット等導入支援特別事業を活用することにより、介護の現場では、介護ロボットの導入が進められているところでもあります。

しかしながら、商品化された介護ロボットを活用した介護技術については、まだまだ開発の途上であり、十分に確立されていない状況にあります。

こうした背景を踏まえ、本事業では、介護ロボットの適切な利用を促すための事業者及び開発メーカー等の意識啓発に資することを目的として実施するものです。

## 2. 事業の名称

介護ロボット導入好事例表彰事業

## 3. 主催・協力

<主催>公益財団法人テクノエイド協会  
厚生労働省

<協力>公益社団法人全国老人福祉施設協議会、公益社団法人日本介護福祉士会、  
公益財団法人介護労働安定センター、高齢者住宅経営者連絡協議会、  
一般社団法人日本福祉用具供給協会

## 4. 応募資格者

応募対象となる機関及び行政、事業者等については、以下のとおりとなります。

- (1) 効果的に活用している施設・事業所
- (2) 地域で高齢者の見守りを支援する事業を実施している行政
- (3) 介護現場のニーズを上手に採用したメーカー
- (4) 利活用の裾野を広げた、流通事業者又は普及支援機関 等

## 5. 今回表彰する部門

### (A) 事業者部門

:効果的に活用している施設・事業所(在宅サービスも含む)

### (B) 行政部門

:見守り支援機器等を上手く活用している市町村

### (C) メーカー部門

:介護現場のニーズを上手に採用したメーカー

### (D) 流通・普及支援部門

:利活用の裾野を広げた流通事業者又は普及支援機関



## 6. 分野

- (1) 移乗支援（装着・非装着）
- (2) 移動支援（屋外・屋内）
- (3) 排泄支援
- (4) 認知症見守り支援（施設・在宅）
- (5) 入浴支援
- (6) その他

その他には、介護者の負担軽減や高齢者等の自立支援、機能訓練等に資する下記の分野の機器を含むこととする。  
機能訓練支援、服薬支援、認知症セラピー支援、食事支援、介護業務（掃除・洗濯・調理・記録等）等

## 7. 募集対象介護ロボット

既に商品化されており、介護現場での実用的な導入販売等の実績を有する下記の要件を満たすものとします。

**目的要件**（以下のいずれかの要件を満たすこと。）

- ・心身の機能が低下した高齢者の日常生活上の便宜を図る機器
- ・高齢者の機能訓練あるいは機能低下予防のための機器
- ・高齢者の介護負担の軽減のための機器

**技術要件**（以下のいずれかの要件を満たすこと。）

- ・ロボット技術（※）を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器  
（※）①カセンサーやビジョンセンサー等により外界や自己の状況を認識し、②これによって得られた情報を解析し、③その結果に応じた動作又は出力を行う
- ・技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器又はシステム

**導入実績要件**（応募する部門によって異なる。）

- ・応募時点において、商品化されている介護ロボットとし、かつ一定台数以上の導入や利用、販売の実績等を有すること

## 8. 表彰位

### ◆最優秀賞

全応募案件のうち、単に介護ロボットの利用というだけではなく新たな、次世代の介護を実現したと認められる介護ロボットあるいは介護ロボット活用普及団体等に対して交付します。

※最優秀賞は、2017年3月1日に行われます最終プレゼンテーションにて決定されます。

最終結果につきましては公式ウェブサイトをご参照ください。

### ◆優秀賞

社会的なモデルとなるものであり、各部門で最も優秀とされる団体等に対して交付します。

### ◆好事例賞

介護ロボットの普及・定着や適切に利用、さらには介護ロボットを活用した介護技術の開発等に寄与した団体等に対して交付します。